

加茂小だより

～夢のある楽しい学校～ 令和元年度 2月号 家庭数配布

オープンスクール、PTA 臨時総会、ありがとうございました

1月30日(木)は、午前中が授業参観、午後からPTA臨時総会とタイトな日程ではありましたが、たくさんの保護者の方にご来校いただき、感謝申し上げます。

PTA臨時総会では、規約改正について、ご承認いただきました。昨今、全国的にPTAのあり方が議論されるようになり、川西市においても、今年度、「川西市PTAあり方検討会」が設置され、各校のPTAにおいて、改革が進められているところです。

このような状況の中、本校では、総務役員の方々为中心となって、「誰もが参加しやすいPTA」をめざし、改革に取り組んでいただきました。子育て、仕事、介護など保護者の方々を取り巻く多忙な環境において、どうしたら楽しく効率的に活動できるPTAにできるのかと、たくさんの検討を重ねて参りました。

今回の改革の柱の1つとしては、「PTAは任意加入団体であること」をふまえ、PTA役員及び委員の選出方法について改革しました。具体的には、すべての家庭に、「立候します」「委員選出の対象になります」「委員はできません」等の意思を確認させていただき「意思確認書」を配布し、「立候補します・委員選出の対象になります」と意思表示された方から、役員や委員を選出しようとするものです。

次に、改革の柱の2つ目として、PTA活動への負担感を出来る限り軽減するため、組織や活動のスリム化を図りました。PTA組織や活動のスリム化は、決してこれまでの活動を否定しているものではなく、時代の変化に対応するため、「PTAの目的に合う活動を残していきましょう。」「子どものために本当に必要な活動だけにしていきたいと思います。」との趣旨で、「誰もが参加しやすいPTA」をめざしているものです。

これから、新たな試みによるチャレンジが始まりますが、今後もより良いPTA活動となるように、皆様の声を反映しながら、工夫・改善していきたいと思います。なにとぞ、ご支援ご協力いただきますようお願い申し上げます。

来年度から、プログラミング教育が始まります

今日、コンピュータは人々の生活の様々な場面で活用されています。家電や自動車をはじめ身近なものも多くにもコンピュータが内蔵され、人々の生活を便利で豊かなものにしています。誰にとっても、社会生活をはじめ、学校での学習、家庭生活、余暇生活等、あらゆる活動において、



コンピュータなどの情報機器やサービスとそれによってもたらされる情報とを適切に選択・活用して問題を解決していくことが不可欠な社会が到来しつつあります。

コンピュータは人が命令を与えることによって動作します。端的に言えば、この命令が「プログラム」であり、命令を与えることが「プログラミング」です。プログラミングによって、コンピュータに自分が求める動作をさせることができるとともに、コンピュータの仕組みの一端をうかがい知ることができます。身近な生活でコンピュータが使われるようになった今、子どもたちがその仕組みを知り、生活を便利で豊かにしていることを理解できるようにすることが求められています。

プログラミング教育は、プログラミングの言語や知識を覚えて、プログラマーになることが目的ではありません。

小学校段階では、まずは、プログラミングの体験を通して、身の回りにはプログラミングされて動いているものがたくさんあることに気付かせることが大切です。そして、子どもたちが体験を通して、自分もコンピュータを使って何かを作ることができるという気付きを与えることが目的の1つと言えます。

また、プログラミングの体験を通して、思考方法を学ぶことも目的の1つです。小学校では、プログラミングの技能を学ぶというよりも、プログラミングの考え方、「プログラミング的思考」を学びます。

コンピュータには、「をして、その次はをして...」と、順序立てて明確に指示する必要があります。プログラミング的思考とは、コンピュータに命令を出す(プログラミング)時のように、目的を設定し、順序立てて考え、実行する力と言えます。

新学習指導要領では、「プログラミング的思考」とは、「自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組合せが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組合せをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていく力」であると説明されています。

プログラミング教育は、特定の教科等のみで実施することを想定しているわけではなく、子どもたちの負担過重にならないことを前提として、各教科、総合的な学習の時間、特別活動等を通じて取り組んでいきます。

一方、プログラミングの体験だけではなく、子どもたちの発達段階に応じて、課題を解決するための手順を考えたり、目的に到達するために、順序立てて計画を立てたりする学習活動等も、「プログラミング的思考」の育成につながると言えます。

現在、市教育委員会では、プログラミング教育に有効なアプリケーションソフトを教育用コンピュータにインストールする等、準備を進めています。本校においても、教職員研修を実施し、準備を進めているところです。今後も、プログラミング教育について様々な角度から検討し、円滑な実施に向けて取り組んでいきます。(2月の行事予定は、学年だより等をご覧くださいませようお願いします。)

